



TITLE:

<記事>2.臨海実習等

AUTHOR(S):

CITATION:

<記事>2.臨海実習等. 瀬戸臨海実験所年報 2004, 17: 2-4

ISSUE DATE:

2004-12-25

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/179033>

RIGHT:

1. 概 要

□平成15年度

◎職員等の移動

- ・ 石田路子氏が博士号取得後、退所(平成15年3月31日)。
- ・ Desai, Dettash 氏を研究生として受入(平成15年4月1日)。
- ・ 石田路子氏を研修員として受入(平成15年6月1日)。
- ・ 津島由紀子氏を事務補佐員として受入(平成15年6月1日)。
- ・ Desai, Ridita 氏が退所(平成15年6月6日)。
- ・ 飯島実氏が退所(平成15年8月31日)。
- ・ Desai, Dettash 氏が退所(平成16年3月27日)。
- ・ Yu, OK Hwan 氏が退所(平成16年3月31日)。
- ・ 和田洋助手が筑波大学生物科学系助教昇任により転出(平成16年3月31日)。
- ・ 和田麻里氏が退所(平成16年3月31日)。
- ・ 小西喜久男事務掛長が再生医科学研究所研究協力掛へ転出、新井伸一事務主任が農学研究科等経理課瀬戸臨海実験所事務掛長に昇任、原田晶夫事務主任が再生医科学研究所附属幹細胞医学研究センター会計掛から着任(平成16年4月1日)。
- ・ 原功次郎氏・柴田敏治氏が博士前期課程に入学(平成16年4月1日)。
- ・ 佐藤敦子氏が博士後期課程に編入(平成16年4月1日)。
- ・ 大谷馨氏を卒論生として受入(平成16年4月1日)。
- ・ 三瀬武史氏・松原未央子氏・梅昭太氏が筑波大学大学院博士課程生命環境科学研究科特別研究学生として転出(平成16年5月1日)。

◎行事・来訪者等

- ・ Publication of the Seto Marine Biological Laboratory, Special Publication Series 第7巻(Supplement)発行(平成15年3月15日)。
- ・ 第1回フィールド科学教育研究センター会議を開催。25名が出席(7月23日)。
- ・ 国立大学臨海臨湖実験所長会議(秋季)及び国立大学臨海臨湖実験所公開臨海実習検討会を開催。20名が出席(12月4日-12月5日)。
- ・ 共同研究者として、Kaenphet Arwut 氏(Walailak University 科学技術器械センター研究員, タイ)来所(11月30日-平成16年1月8日)。
- ・ 研究補助者として、Aungtonya Charatsee 氏(ブーケット海洋学研究センター研究員, タイ)来所(11月30日-平成16年1月8日)。
- ・ 瀬戸臨海実験所年報16巻発行(12月25日)。
- ・ 水族館休館(12月29日-平成16年1月3日)。
- ・ 水族館開館(平成16年1月4日)。
- ・ オーストリア・ウィーン大学との学術交流協定に基づく派遣研究者として、宮崎勝己助手がオーストリアへ外国出張(1月10日-2月9日)。

2. 臨 海 実 習 等

□平成15年度

例年の通り、京都大学理学部をはじめ諸大学及び高校の臨海実習が下記の通り実施された。

(学校・実習科目名・実習期間・受講学生数)

京都大学理学部生物系臨海実習 I	8/7-8/14	延 112人・日
京都大学理学部生物系臨海実習 I	9/7-9/14	延 48人・日

京都大学理学部生物系臨海実習Ⅱ＊	3/21-3/27	延	70人・日
京都大学理学部生物系臨海実習Ⅲ＊	3/15-3/20	延	54人・日
京都大学理学部生物系臨海実習Ⅳ	8/7-8/14	延	32人・日
京都大学理学部海洋無機分析実習	7/21-7/23	延	48人・日
京都大学全学共通科目生物学実習Ⅱ	2/20-2/23	延	80人・日
京都大学防災研究所地球惑星科学専攻実習	9/15-9/16	延	44人・日
京都大学院人間・環境学研究科 海洋化学・水圏科学実習	8/4-8/7	延	52人・日
京都大学新入生向け少人数セミナー(ポケット・ゼミ) 「紀伊半島南部の里域生物相調査」	10/22-10/24	延	24人・日
京都大学瀬戸臨海実験所公開臨海実習(学部生対象)	9/7-9/14	延	72人・日
京都大学瀬戸臨海実験所公開臨海実習(学部生対象)	3/16-3/22	延	126人・日
和歌山大学教育学部臨海実習(植物)	4/17-4/21	延	30人・日
奈良女子大学理学部臨海実習Ⅱ	5/13-5/18	延	96人・日
大阪教育大学教育学部臨海実習	5/29-6/3	延	90人・日
放送大学面接授業	6/14-6/15	延	40人・日
奈良教育大学教育学部野外実習A-Ⅱ(臨海実習)	6/16-6/20	延	60人・日
和歌山大学教育学部臨海実習(動物)	6/29-7/3	延	30人・日
大阪市立大学理学部臨海実習	7/13-7/19	延	154人・日
滋賀県立膳所高等学校第34回生物実習	7/25-7/28	延	76人・日
大阪大学理学部生物学臨海実習	7/30-8/4	延	108人・日
信州大学理学部計測化学特論実習	8/4-8/7	延	24人・日
兵庫県立尼崎小田高等学校臨海実習	8/18-8/20	延	18人・日
関西学院大学理工学部臨海実験臨海実習演習(1, 2)	8/21-8/25	延	115人・日
京都教育大学生物学教室夏季実習Ⅱ	8/26-8/30	延	65人・日
滋賀大学教育学部臨海実習	9/4-9/7	延	96人・日
大阪千代田短期大学幼児教育学科磯観察実習	10/7-10/9	延	48人・日
龍谷大学環境フィールドワーク臨海実習	3/8-3/11	延	72人・日
＊前年度末に実施			

(計)	京都大学	10件	延	564人・日
	公開臨海実習	2件	延	198人・日
	他大学国立	9件	延	599人・日
	公立	1件	延	154人・日
	私立	3件	延	235人・日
	その他	3件	延	134人・日
(総計)		28件	延	1884人・日

○公開臨海実習(9/7-14)は「無脊椎動物の多様性と進化」と題して学部生を対象に実施し、茨城大学・信州大学・岐阜大学・京都大学・熊本大学・福井県立大学・東邦大学・日本女子大学からの学生9名が受講した。

○公開臨海実習(3/16-22)は「無脊椎動物系統分類学」と題して学部生を対象に実施し、北海道大学・筑波大学・千葉大学・横浜国立大学・岐阜大学・静岡大学・名古屋大学・京都大学・広島大学・愛媛大学・熊本大学からの学生18名が受講した。

また地域貢献の一環として、以下の行事が実施された。

(行事名・実施期間・参加者数)

白浜町児童館主催自然観察教室	7/4-7/4	延	56人・日
白浜町生活環境課主催水辺環境教室	12/1-12/1	延	48人・日

3. 研究会・来訪研究者

下記の研究会が開催された。

○「第16回瀬戸海洋生物学セミナー」

話題提供：Jens T. Høeg (Institute of Biology, University of Copenhagen) "Cypris larva in the Crustacea Thecostraca: The role in the life cycle and in phylogeny reconstruction". (10月28日)

来訪研究者は次の通りであった。

○平成15年度(2003年4月1日-2004年3月31日)

学内	66名	232日
(内外国人	2名	4日)
他国立大学	83名	468日
(内外国人	4名	39日)
公立大学	7名	33日
(内外国人	0名	0日)
私立大学	72名	101日
(内外国人	0名	0日)
公立研究所・博物館	2名	8日
(内外国人	1名	6日)
国内その他	68名	262日
(内外国人	0名	0日)

小計	298名	1104日
(内外国人	7名	49日)
国外	11名	28日

合計	309名	1132日

氏 名	(所 属)	氏 名	(所 属)
足立 明子	(近畿大農)	Elena, Dunham	(Univ. California, 米国)
鯉坂 哲朗	(京都大地球環境)	藤原 伸介	(関西学院大理工)
秋松 慶治	(近畿大農)	後藤 銃吾	(NPOシニア自然大)
有山 啓之	(大阪府立水試)	後藤 慎介	(大阪市立大理)
有菌 正弘	(近畿大農)	Grygier, Mark. J.	(滋賀県立琵琶湖博, 米国)
Armand, Kuris	(Univ. California, 米国)	波部 齊	(京都大学術情報メディアセ)
Arwut, Kaenphet	(Walailak University, タイ)	萩原 英憲	(近畿大農)
Charatsee, A.	(Phuket Mar. Biol. Ctr., タイ)	花里 孝幸	(信州大山地水環境教育研究セ)
出口 央土	(京都大再生医科学研)	春田 泰宏	(京都大理)
出口 育宏	(NPOシニア自然大)	長谷川 徹	(近畿大農)
土井 啓行	(下関海洋科学アカデミー)	橋田 理也子	(京都大フィールドセンター)